

### 全滿舉 げて 建國記念祝

社合油灣農丸

機械政府に於ける三月一 一般監察院監察官 一般監察院監察官 一般監察院監察官

者一は日

二工称處長

文教部總務可長 策監察院監察官 荒井

**教簡任** 

上禁止

『ハツハツハツ、マダムの歩

尙嚴

「何でもい

用があるはないでせう。さ、

人を待たしざいて、

0

は

\*\*\*

## 果ふもの日満併せて二萬 袁 よめき

否應言はさず、引ッ張り出さうごする、この英子夫人になけこの時も興味を感じた。

く建國精神の振起發揚、躍進に次ぐに躍進を以て進んだ今日に至る迄の蘇々たる業績を讃へてく建國精神の振起發揚、躍進に次ぐに躍進を以て進んだ今日に至る迄の蘇々たる業績を讃へてふ一日は五色の大旆を翳して雌々しく建國の叫びを攀げた鴻洲帝國の第五周年記念日だ、三千 建國の英靈を弔

協和會首都本部、日本總領 に、滿鐵合同主催の下に整 なる慶祝豪華版が繰り展げ なる慶祝豪華版が繰り展げ 際して」と題する、講演あり部長の「建國五周年記念日に次いで式辭、中野協和曾指道

五周年記念日を迎へ杉山陸相(東京國通)一日の瀬洲建國

五色旗の氾濫、慶戯の一色に一は左の如き

談話を競表した

實施、全市日滿兩國族の亂舞的大學では金二千個をも一方協和と相呼を五十分より軍用犬訓練が一方協和時五十分より軍用犬訓練が一時五十分より軍用犬訓練が一時五十分より軍用犬訓練が一時五十分より軍用犬訓練が一時五十分より軍所では金二千個をもので窮民施務を全市五ケ所では金二千個をものに依って意氣に燃えた岩人のに依つて意氣に燃えた岩人のに依つて意気に燃えた岩人のに依つて意気に関する。

輝かしき建國第五周年記念日 や迎へて建國當時の思ひ出が つぎからつぎへと浮かんでく るが、中にも三千萬國民なら びに在滿日本人の網膜に鑄つ

建國最初 記念の 掲げた

初に満洲國族 のは大同元年 のは大同元年

大佐起つて萬歳を埋めて、東部なって開宴、実部なあって開宴、実部なあって開宴、実部な

0

壁がな回想とともにある を結んでけぶ地に溝つ敷喜は

『第六感でお参へなさいよ』

君はすぐに來るでせ

かへるだ

さうでしたかの一時間

枝氏の

賜餐の御盛儀

て、ごうかき思はれやしないへ、一人で來でゐられるなん お會ひになること そんなこさ、なあぜ

下めださ思つて?』 『あなたは、お馬鹿さんね』 あたりがつきません

『ようく存じあげてあますの

ひびいてある ひびいてある

か加へられた

りふを壽ぐ宮内府内外

とならぶ永速の國基に光雄 密位編承法設布されて、日

ごやかで 主直は基然として親しむべ

6

の善政を讃へつ

を 電を関し、減洲國は盟邦日本 関務院秘書處にその所在をた づれれば小胎廳にその所在をた づれれば小胎廳が発長は左の かく語る

人を奥さんなんて。

でそれださ、この部屋のドア りぢやないですか。佐枝氏だを、閉けたきりにして、お肉 わ。二三度ばかり、 二度ばかり、家で會つ の、離を見るさ の、離を見るさ 宏を見るさ 「あ

正

急にすました英子夫人の離 が、ふくれた。 スア、御存じて、 『何か社に御用が?』 勝時に対を

友邦滿洲帝國は、獲れる次第である、顧れることを衷心よりあることを衷心よりある。のはり 『えゝ、僕の擔任なもんで、 手が抜けなかつたんです』 さかも知れないわ。ね、その、それこそ、醉ったやうに 『あら、あたし、批評なんか 待つて讚みます 『その、ちょつさ他に、用が 事を書いてたもんですから』 あるのですが 『へ、、、、批評の批評を、 『失禮しました。 ちよつさ 卑怯な (七十五) 英子夫人の前に、突 またそんなこご言 スポーツ記者の

『いゝア、命令一下ですね』 「「いゝア、命令一下ですね」 「「なうごする、そこに宏は編 いなうごする、そこに宏は編

應接室を出るさ

英子夫人は、

uj

五十歩百歩だわよ

『早く帽子を取ってらっしゃ





昭和十二年三月一

菊正宗大關醉心

一樽に付 金四圓五拾錢上げ 引 宜 一本に付 金拾銭上げ 立

Y)

其他の瓶詰は一升瓶の値上げに準ず

一日法 ・一日本 ・一日ないである ・一日ないである ・一日ないである ・一日ないである ・一日ないである ・一日ないである ・一日ないである ・一日ないである ・一日ないである

(東京関通)東亚の康寧と民

、 選進しつ、ある盟邦滿洲國民の数の基である萬世不易の帝位繼の基である萬世不易の帝位繼の基である萬世不易の帝位繼

大料理屋連は過日來兩組合長、 を代表として酉の値上げ方を を代表として酉の値上げ方を を代表として酉の値上げ方を が京署に懇願して居るが、新 京署では影響するところ大と に参考資料を照會中のとこ 他に参考資料を照會中のとこ

概なので新京でも多分値上が これについて小林保安主任は 從來も大連と同値の銚子ー 本四十錢は新京では税金の でして貰ひ度いとの話があ では代金のを示けて來たが、今 回の内地の値上げでは業者 から何とかせねばならんと

考へ色々調べて見ると業者 にせらに思へる、その代り だし上げた場合は日本酒一理屋の銚子が一本四十 を語つてみたが、近日 を語ってあたが、近日 でもな と語ってるたが、近日 でもな と語ってるたが、近日

**本四十五錢と** 近日中に料

で嚴重取締

四氏正式決定

鳩山、前田、島田、中島の

型力考査午後身體檢査、口頭試問の一部、三日身體檢查、 中學力考査午後日頭試問、 中學力考査午後日頭試問、 中學力考査午後日頭試問、 中學力考査午後日頭試問、 中學力考査午後日頭試問、 中學力考査午後身體檢查、 日頭試問、

▲ 本事變繪卷展、三中井 大興ビル地下室食堂 大興ビル地下室食堂

3

す

(三世)

は鉛筆、小刀、ゴム程度で必 要以外の物は持入りを禁止さ れる

各地受驗生來京

三日の雨日賞施の中等

店いなり本語

£

龍洋

電新京永樂町一

日田の漆器と

入典發布に

感慨深き嵯峨浩子姫

お慶びを待つ床しき日常

努力

を建設の大業に

谷川

第三艦

除司令長官

專

挨拶に來京

驗五十六千五第

山海軍少将、出雲艦長鎌田 関に新任揆拶のため参謀長 国長谷川海軍中將は國都各 国際の大の参謀長

一十分着列車で來京した、ブラー・一般軍大佐、泰山軍醫長、中村会談、藤野副官

補第十四師 健軍中將 從四位勵二等 。 。 。

廐 介

補近衛師團長 全職第十二師團長 位四位勳二等功五級 位四位勳二等功五級 位四位勳二等功五級

Ξ

命

部會、さらに午後二時職員總部會、さらに午後二時職員を開し十八日午代行機關設置に関し十八日午代行機關設置に関し十八日午

西等

借

正四位動一等功四級 中村 孝太郎

補第十師團長 なは病中の中村孝太郎中將および前任地にある尾高、板垣 城中將に對しては陸軍省を通 じて左の職記が傳達されるは

れたが、この

國民の感激は重る慶びに、潮口を視縮しつゝあつた三千萬年一たび全國に傳はるや記念

繼承法」は三月一日建國五周 らしむべき不磨の大典「帝位 孫州帝國の帝位を萬代不易た

(二)

感懐往來する五ヶ年の歴史

・各世に傷へるため同講演 ・各世に傷へるため同講演

さ最後的放送となしたが氏の はこれを以つて氏の記念 はこれを以つて氏の記念

市長子の御生誕を

能る三千萬國民

大典發布に全土は歡喜一色

縦石なる 満洲國

のは來る四月三日の佳辰を卜された、この歓喜の嵐の中に 能にもまして感情に打たれる

表る二月十日全瀬合地から選青訓指導員卒業

は出来ない、所謂主流なものであり、覇道はいるものであり、覇道はなものであり、覇道はなものであり、覇道はないのである以上、平平の製造をは対している。

皇帝陛下の御弟君溥傑氏と日 皇帝陛下の御弟君溥傑氏と日 東京の神の御父君宮院在學中赤坂氷川 町の御父君宮院在學中赤坂氷川 町の御父君宮院在學中赤坂氷川 町の御父君宮院在學中赤坂氷川 大崎中丸の濱口吉右衛門氏邸 で祖母いと刀自へ七三)の愛 た交つて家事一切を指揮する た交つて家事一切を指揮する に交つて家事一切を指揮する に交つて家事一切を指揮する で祖母いと刀自へ七三)の愛 たず空の日常生活は愛素と謙 である、姫は岡田三郎

中和平ははのあれるないでは は和強平如るないでりな 別を力和き、いてりは 論職的的疑しこ世和ま める、覇道が果

来る燗漫の春をも待た了春港 ・ でする。 ・ でする

本館に於て執務可致候間右御承知相成度候

康德四年三月一日

業部

林

務

司

服毒自殺

謝

見

發作的自殺か

協和會設立の本義は即ち國家 に協和會を設立して相互救助 をはからんとするためである 人類に競争のあることは利己 排他心あるに原因する、利の あるが强者は必ず弱を暴壓す、かくの なるが弱者は必ず弱を暴壓す、かくの ないである。 ついて を無いる民を言いた。 感派即る民体で に異なると對む

田郎、前田米蔵、島田俊雄、中 高畑久平四氏を代行委員に推 大管を再開の議員總會席上披 大管を再開の議員總會席上披 大管を再開の議員總會席上披 大管を再開の議員總會席上披 大管を再開の議員總會席上披 大管を再開の議員總會席上披 大管を再開の議員總會席上披 大管を再開の議員總會席上披 大管を再開の議員總會席上披 大管の四氏) 部補、淺井部長及松本醫師檢 就をしたが、何一つの遺書も なくその死因は迷のま、残さ た、届出により領警署田中警 た、居力に立る。千代丸は二十八日 を始め、途中午後二時領單獨外出し幾分 たが檢鑽も好成績、過去である。 一號四疊の間代を始め、途中午後二時領別 を始め、途中午後二時領別別出し幾分 たが檢鑽も好成績、過去であるが、同女は昭和 たが檢鑽も好成績、同女は昭和 たが檢鑽も好成績、同女は昭和 を計つたものであるが、同女は昭和 を計つたものであるが、同女は昭和 を計つたものではあった。同女は昭和 を計つたものであるが、同女は昭和 を計つたものであるが、同女は昭和 を計つたものであるが、同女は昭和 を計つたものであるが、同なは昭和 を計つたものであるが、同なは昭和 を計つたものであるが、同なは昭和 を計つたものであるが、同なは昭和 を計つたものであるが、同なは昭和 を計つたものであるが、同なは昭和 を計つたものであるが、同なは昭和 を計つたものであるが、同なは昭和 を計つたものであるが、同なは昭和 を計つたものであるが、同なは昭和

謝近火御見舞

新京

六馬路

同

報

祉 祉

京時報支

治安 ある何を協和と ある何を協和と

大の場響をは二十日間に 一十八名の講覧會は二十日間に 三り大局學院に於て行はれた が昨二月二十八日目出度く卒 第式を擧行、本日協和會各縣 一時年訓練所專任指導官となつ

取の版間に若鮎の様な身をつ 支語、ピアノ、三絃は何れも

美はしいり

黑耀 んで

日満の契りを語るの

本はなどつてをります。 心はおどつてをります。 心はおどつてをります。

郷軍聯合分會 帝國在鄉軍人會新京聯合分會 帝國在鄉軍人會新京聯合分會 では來る二日午後七時から聯 合分會事務所において理事會 配念日行尊打合の件 一、會 即決定の件 一、十二年度主

十二年度主

各中等學校 あす入學考査

謝近火御見舞

新京煤油總

新京石油販賣組合

漬

京

各

種

連大

屋

受付時刻と心得

受付時刻その他必要事項は左き移校入學考査が一齊に貨施でれる都京各男女中等學校のでれる都京各男女中等學校のでは、

一、入園願期日

、募集園兒數 藤影幼稚園

六十名(六歲、七歲)

屋

最話(2)||八

A 兄募集

△商業學校 等査は學力考査、午後身體 考査は學力考査、午後身體 検査、口頭試問の一部、三 根本、口頭試問の一部、三 の口頭試問の一部、三 日午後一時十五分着列車で四 平街小學校兒童三十五名、同 一小さき胸をふるはせながらそ れた~先生に連れられて來京

中に値

國恩感謝

讓 店 問合せ電話(三)三七六七番へ拔の儘格安譲りたし、居

御問合せは電(3) 大五六二 美粧院譲りたし 同和自轉車商會へ

男 男女學生用
◎學習院型ランドセル カバン

進級・新入學の御祝と御準備は 學用品専門の

ALEXALTERATIVE AND A STATE OF THE A

開

其他詳細は本園に御間合せを乞ふ

西本願寺附屬

藤影幼稚園

一、開園期日

四月六日

祝町西本願寺內 三月二十日迄

事先年元二葉カフエー在動中は一方ならぬ御屋 舞啓新春の折柄皆々線御健全なる事と存じま

相製が御引立の程を御順致します 鉢物おでん屋を開業致す事になりましたから何 今般皆様の御奬めに依りまして左即場所に於る に預り誠に有難く何體申上ます

て 2 其他一品 料理種

てん 太子堂前裏小 祝町二丁目十一番地 7

大阪屋 大阪屋 東子士弘上

市内に確實なる保證人ある方十七八才迄

家設間場

謝近火御見舞

新京七馬路舊國務院横

康莊

桑

外店 交 員員 問合 四十八圓

(石) 新京永昌路六○壹號〈永喜莊〉新國為院附近 以 八疊半、六、二、玄關合所 (大) 新京永昌路六○壹號〈永喜莊〉新國為院附近 電話三十三二七〇番

局

**尚明二日よりの一般事務に關しては從來通り舊國務院本昨夜火災の際は早速御見舞被下厚く御禮申述候** 確實

館に於て執務可致候間右御承知相成度候

謝

御見舞

臨時產業

調

查

叮嚀 動産ノ賣 動産担保 家ノ管 3 買金賃 業融貨 ノ理 京銀行內

店住村向 アリ

貸家廣告

候尚明二日よりの一般事務に關しては從來通り舊國務院當部林務司昨夜出火の際は早速御見舞被下厚く御禮申述

ズ喜劇團

トラ

四日より豊劇公演

引拔き防止

各社で新協
昭和十年四月結ばれた五社の
引拔き防止協定はその後第一
映畵の解散、千惠プロの所屬
映畵の解散、千惠プロの所屬
映畵の解散、千惠プロの所屬
を更、阪妻プロ解消、入江の東
でと共に最近には東曹ブロックの擴充に伴なひ指定會趾からスターの引拔きなどあり、
あるれてゐた所東野側として
なられてゐた所東野側として

(日 曜 火)

●二黒の人 物事遠て氣味と すべき日常深を怠る事勿れ 申と庚と辛が告

下の

錢

前後篇同 演主次健利由 • 子重八川歌

化畵映の說小載連部樂俱人婦作特超口

茂祐山漆 嚴 伸城山色脚峽 嵐津振 鑑 寬澤母子 作原 輔 恭 本 松 演主 子 代 佐 住 香 子 思 多 良 比 藏 惠 千 岡 片 下天…義仁族股の物荷け分振…れつもの藍盆…祭秋の神明大和浦…は所…力勢のつニる十立對…町の和浦州武…は時 得滅惠千るけ墨り煙血に醴祭の神明大和浦州武で法剣さくやい凄物と呵啖な様くすの胸が郎太榮の父来:鳥族の密無

階下 一日より 日

品作超回一第社入畵映都大九佐昌山杉

雄 方 土……督監……盡映代現作特映畫都大 ータスルーオ他郎太道島水・路糸琴……演主

日

日

日

間

演主 九左昌山杉 ータスルーオ他 トスヤキ

演主ンヤジレプ・ルーベルア・ーリーログ・ーリマ 』峰高最の畵映藝文國佛き深激感む包で涙な高崇ご情愛の久悠を生人 日 中 映ネ樂 日 だ物本のバムル!だ風旋・だ械機くなて體肉・スウシマる踊 三日 間 ※ スウシマ・ーシツエジ

田田 記弘

五拾

支那の棉實輸出稅

大巾の引上げ

ー目標は日本に向けらる

展産物に對しても増税を行は お日鮮人が翼東貿易品を海陽 に没収されたに對し憤激し海 に没収されたに對し憤激し海 に改収されたに對し憤激し海 に改収されたに對し憤激し海 に改収されたに對し憤激し海 に改収されたに對し情激し海 にな事件あり、これに對す したる事件あり、これに對す に関国に緩係網をはりめぐら に関国に緩係網をはりめぐら

金銀市況

組合せ

提

文セル

為替相場

▲上海爲替

\*

事實上除出不可能に陷つたが の 輸出業者に相當の打撃を興へ の であた魔、廿六日より突如豫 であた魔、廿六日より突如豫 であた魔、廿六日より突如豫 であた魔、廿六日より突如豫

意向で騒係方面の注目を集め

品不足を憂慮

ため横濱維貨中南米輸出組合 の斡旋で日本、ドミニカ貿易 協會が設立される事となり、 ドミニカ國獨立配念日たる廿 七日横濱商工裝剛館でこれが 事業計畫等を決定した

商况欄

(四)

為替管理强化の影響未だ

日三月限は十四銭方下放れて銀配弱く、休會明けの二十七

金塊の行方

御軍も手を続いて があり、このとこ があり、このとこ

第一回

スペイン左翼政府がマドリッ 世上たことは叛将フランコを して地圏太を踏ましめたもの だが、この金塊の行方はその 後一部がフランスへ送られて 表月末その第二回分四億六千 三百萬フランがスペインより られた、この結果スペインより られた、この結果スペインより によれに對しイタリーおよびドーンと によります。 によります。 により、後パリへ送 になってマッションに上つた により、といりにより になってマッションに上つた

【東京國通】日本糖業聯合會 日本砂糖の 對支輸出激增

貿易組合の整理に

商工省乘出す

日平均二二六**車**、一 現物二等品二車二〇圓五六 通大豆 先物 出來不申

▲ 大滿鐘新 大新鏡所東

現物 出來不申 高梁 先物 週初二十二日二 月限三圓八十六錢、三月限三 圓九十一錢と寄付聢りを呈し 大豆高に伴れて尙ほも上伸、 三月限は四圓一錢の高値を見 七四日線きの休會に入つた、 二月限は二十二日の三圓八十 六銭を以て納會(受渡三〇車) したが、三月限は週末二十七 日三圓九十六錢で不勢裡に越 徳七千三百萬フランに上つた これに對しイタリーおよびド イツ政府はその在外養金は何 絶對中立を期するためには同 養金を不干渉委員會が押へて 監督すべきだとの案を同委員 會に提出してゐる

土建ニュー

ス

、安値一四週二〇銭 一字均五車 決定工事 **圆九十九錢 八萬七千四百八十二** 

(東京阪通) 阪神地方は本邦 智易の中樞だけに貿易關係の を行はぬものあり、また組合 の存在が却つて悪影響を及ぼ すものもあるので商工省では 関係業者の要望によりこれが 整理を行ふ計畫を進めてある

が千二百噸輸入を計畫しながら約二百噸を入手したに過ぎなかつた」め非常な品がすれとなつたのが今回の輸入杜絕で、最近の供給不足をさらに加重するものとして憂慮され

諸般の情勢考慮

新京取引所

五十三圓七十六錢

國際藥局 電気至極相

東東

各曲

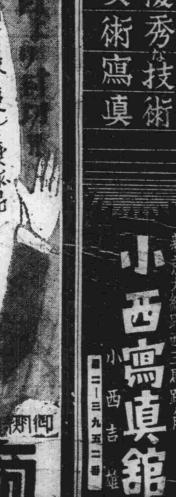
株式市況

健康第一

第二回 一志二片 OOO 

第一回

優秀技 美術寫真 術





ダイヤ街 電話(8)五六〇九番



立	* * *		
		料階	下八十錢
···主K	仇討膝栗毛	2.15	6.35
2 11	やきもち會議	3.20	7-40
4	有頂天時代 發告12.2	5 1.45	9.05
23	曉の爆撃隊 1204	5.00	終10.50
ヹフ			- Marianton

新京本本 武士道期 らかなりし 頃

地雷火組 論 13.10 3,35 6,50 0

八社春の超特作 1987年の大放送 岡藤二・星幹千主族 沿槽の花嫁 2.2 6.16 12-05 3-58 7.51 浴槽の花簾

更力

を行ぶことに決定した。而 してユニオンでは今月はじめ 約三ボンド引上げ二千十二個 と訂正したばかりであり、今 回の再引上げにより約二千九 十八側となるが右電報の如く 東止めとなれげ値上はノミナ ルにすぎぬが、輸入拒絶によ り内地供給不足は一層加重さ れるわけで、去月ユニオンの れるわけで、去月ユニオンの

間を据置くことに方針決定し 期更改期まで現在建値四十九 貿易協會設立

「東京園通」日鐵ならびに共 に 東京園通」日鐵ならびに共 に 大東での政治的事情を考慮 に 大東での世紀においてなほ に 大東での声とし で は 大東の商工省の力針に基い で は 大東の商工省の方針に基い で は 大東の商工省の方針に基い で は 大東の商工省の方針に基い で は 大東の商工省の方針に基い で は 大東の市工省の方針に基い で は 大東の市工名の方針に基い 進んで兩國親書の實をあげる 共和國との貿易振興をはかり 

HHHH

1111111111

三月一日より五日迄

- %

階

御

學

用品

百億店

新京

軍艦が造れない

▲新京緑車區一〇呎施盤保設 其他の工事 単獨 一百二十八個 宮崎 政一 宮崎 政一

事 一千七百二十七圓五 十錢 十十一章 十十一章 第二回 5、041 高州 (三月一日前場) 海外經濟電報

經濟トピック

■月夏 景で10 =

な潔清で安格は泊宿お

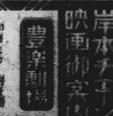
巻〇四七一・2話電

古屋信尹

三同士

新京学等

12-00 8-41 7-21



新土の前途、榮光あれ

各位の厚情謝す

板垣五師團長の咸懷

新舊參謀長記者團

と會見

### 聯軍備 THE THE THE THE

露

領

區競

賣

空統勢の統

### 【頁二十刊夕朝紙本】

# 財政改革、産業統制に関する政府の答辯を確めた後省の股合には名案がない標道又は商工、農林を合併をおりも陸海軍を合併した方よりも陸海軍を合併した方と思ふが如何

# 特に航空充備の必要考慮 次國防充實計畫 對應する

林首 相 官僚政治会々と 言はれるがそんな事はないとのは現下の関情よりみてるる、組組のといるとはないてものは現下の関情よりみである、行政機構の改革の方がよいと思ふがよいと思ふがよいと思ふがよいと思ふがよいと思ふがよいと思ふがないと思ふがないと思ふがよいと思ふがないととのあるがよいと思ふがよいと思ふがないととのあるがよいと思ふがないととのあるがよいと思ふがないと思ふがないととのあるがよいと思ふがないととのあるがよいと思ふがないととのあるがよいと思ふがないととのある。

**一後零時半、同一時半再** にこれに答へ、杉山陸相 にこれに答へ、杉山陸相

よつて來つた沿革

簡單な容辯あ

てたて 時 如い は 局

(交友)

岩坂さ

水野甚次郎氏
を壊ったが、大野は大郎のである。
本だ航空省の設置を未だ航空省の設置を 提し演説草でなれた航空省の統一を要

設置をみざる

見を尊重してゆくつもりでいては目下』査會においていては目下』査會においていては目下』を含めておいていては

に草稿を卓上に置 過日米内海相よ

が首相「大體水野氏と居 ある』と答へ午後二時四 かる」と答へ午後二時四

時四十五

た女性岩坂安子さん を山吹町二ノ三の私

一川二ノ三の私宅に訪ら選ばれる場所軍管下から選ばれる。 (四七)

【東京國通】昭和十二年度以降六ケ年計畫をもつて實施せんとする陰軍の 衆院の陸相答辯に注 一、裁判所構成法中改正法律等(政府提出)を一括上程、徳川委員長の報を一括上程、徳川委員長の報告通り可決、かくて政府提出)を一括上程、徳川委員長の報告通り可決、かくて政府提出)

會尊重問題で喰下れば冰首相大河内子再登壇してなほる議

その質問に對し杉山陸相は 如く本計畫についで第二次計畫を必要としないかの大陸七萬貴程度で平年化するとの豫想が逆に遞増してゐる第三次計畫が出て來た如く又滿洲事變費が十年度から大陸七萬貴程度で平年化するとの豫想が逆に遞増してゐる第三次計畫が出て來た如く又滿洲事變費が十年度から大陸七萬貴程度で中年化するとの豫想が第二補充計畫についで以下。 「別の工程目されてゐるが、一日午前の衆議院業算第四分科會において政友會の船田中氏はこの點に關しる。」の工程目されてゐるが、一日午前の衆議院業算第四分科會において政友會の船田中氏はこの點に關し

るからこのソ聯の航空兵力が格段の擴充をみることになればこれに對して陸今回の計畫で大體ソ聯に對抗出來ると思ふたゞソ聯は目下航空力を入れてゐ 軍としても別途に考へを建てねばならぬと思ふ

又は委員長報告通り可決した役日程第一の陶瀚大臣の演説に對する質疑に戻り大河内輝

農地分

形態

H

の必要を考慮してゐるものと觀察されこの と答へたがこれはソ聯航空兵力の擴充程度によ 點が今後特に注目される つては陸軍としてもこの航空兵力に對應する新たなる航空充備計畫

はか一件を一括上程、山崎農 一、酒造組合法中改正法律案 可決、ついで を上程・岩倉、高橋各委員長 「東京関連」一日の貴族院本 相の説明あつてのち十五名の (政府提出) なた程・岩倉、高橋各委員長 「東京関連」一日の貴族院本 相の説明あつてのち十五名の (政府提出) なた程・岩倉、高橋各委員長 一、日本無線電信株式會社法 中改正法律案(政府提出) ・特許法中改正法律案(政府提出) ・ 商標法中改正法律案(政府提出) ・ 不正競爭防止法中改正法 律案(政府提出) の報告通り可決した

大河内輝耕子質問要點を確めた後再登壇して本格的質問に移る 大河一子 (研)前提としてまづ杯内閣の政綱を伺いて置き度いが設定憲法の條章により外國政治に関する點はわが胸の憲法と異つた我國獨特の政治を行ったより外國の憲法と異つた我國獨第一の立憲政治を行ふといふ意味である。

政務官を置かざる理由、組 政務官を置かざる理由、組 八子 - 軍の政治干與 の獨善主義について軍 の本分を輩せ 一、農地法案(政府提出)

由の説明あつた後質疑に入りを上程、山崎農相より提案理 岡田喜久治君(民)登壇

日

者

岩坂

は農村の疫男 は農村の疫男といふ問題を一季 はなかなか は農村の変男といる問題を一季 はなかなか は農村の変男

テ な な な と な に 人

**兼ねて陸革省で銓衡中であつ** 「東京関通」昭和十一年度陸

係左の如し

一齊に行はれる筈であるが、 ・ とした、表彰は第卅二回陸軍 ・ 記念日をトして來る三月十日 ・ 記念日をトして來る三月十日

たのでは選事

今回の發

官の意園近ある、故に参謀を基調をして継べてに最善を基調をして継べてに最善を基調をして継べてに最善を基調をして継べてに最善を基調をして継がではない私に参謀を関すって進むを置いる。

前参謀長の努力を

基調に

最善期

1

新任の抱

九十

柴用車もトファクを

滿鐵新社債

功績を表したもので闢東軍閥 と、軍事扶助、國防獻金、恤 を、軍事扶助、國防獻金、恤 第京山吹町二/三 類県 場 板 以上感謝狀、銀盃、 岩 板 合分會 帝國在鄉軍人新京聯合 會分會 帝國在鄉軍人會率天聯天千代田通十五番地 功勞章子 自一色に塗りつぶの付ひが漂つてくる▼特には をたゝせる▼そういふ候とも をなれば例年のやうにやつてくる▼特には を終うつたもろもろの願望が なれば例年のやうにやつてくる▼ 母園を遠く離れた演洲の東野 と縮うつたもろもろの願望が といる▼で能の子の様に着勝れて を放り鳥のやうにやつてくる▼ 母園を遠く離れた演洲の第一 とである▼が然し毎年皇軍屋 はに在る者には誠に嬉しいこ

れぬではな、農業 る迄た林度 相、山崎農相、賀屋の懲談會は一日午後のの懲談會は一日午後 得 農相、賀屋大轍次官院協議壁で開會、政に協議壁で開會、政は一日午後零時五十

なき意見の交換を顕して勝正憲、大口喜六爾と目下審査中の七とするを妥當とするを安當とするとするを安當とするとするを安當とするとするを安當とするとするを受當とするとするを受賞とする。 、大口喜六雨氏より では四千五百萬順を増 に四千五百萬順を増 を妥當とする、小委 を妥當とする、小委 をの間高りたるをもつ では、小委 では、小委 では、一手を でいる。 でい。 でいる。 でいる

議會本院衆 山委員長迄何分の返 単に審査をして熟慮 ・ 結城職相より

でもとお手傳 でもとお手傳 でもとお手ので割合

【東京國通】二日の貴族院は本會議休み、午前十時各分科會、決算總會、軍機保護法特別委員會を開き、衆顯院は午後一時本會議を開き、衆顯院は午後一時本會議を開き、衆顯院は午後一時本會議を開き、衆與院法中改正案、救濟法中改正案、超子保護法案、輸出保證法中改正案を順大上程、各派の質問後委を順大上程、各派の質問後委を順大上程、各派の質問後委

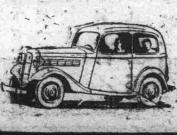
陸車 大異動 H 正式

れ正式に競令せられた と三月一日附をもつてそれぞ は正式に競令せられた 往

下記二類御記人の事

ダットサンの熾んな全國的人氣心の機構や 性能の優れてゐること、國産車であること 乗用事又はトラツクのそれぞれの特長を謳ったスローガンを求めます 金壹百圓也(一名)

全拾圓宛(五名) 佳作無用の分には特別を贈呈します。入選作の 版書は弊社に悪し態勢作品は一関返戻しません



水野氏 最近翻業債券を でこれが購入に狂奔する でこれが購入に狂奔する な 放露 を極めてゆくではな ないなら馬券等はまずいけないなら馬券等はまずもつないなら馬券等はまざもつないなら馬券をはないか 

を落札、増減なかつ ある、なほ右の不変 しては日ソ漁業條約 十五日以内に、かつ 中からずして再競賣

省設置の軍政には一不可な

平 續 府 里 門 里

釜山府水町二丁!



1. 標語 (一枚一句) 2.本廣告御寛の新門

昭和十二年三月十日限 同年三月中に本紙掲載い

滿洲帝國建國

※サルヴアドル共和国 でにこれを裏書きする

乗船拒絶をもつて社内革正選 告するころあつたが、改革を旗幟に突如高級船員の 元氏と會見、會議の結果京國通」閃體明燉、社內 日午後八時歸津、直ち

郵船爭議

五ケ年の推移出

今、すなはち康徳元年三月中 たを人生に比較すれば社會的 成型の過誤をはじめとして、引續 的體力と教養とを授けられた 理解の過誤を見にある 本が社會的活動を閉始するの 部門 を競表し、過去における聯盟 離腸が多いと等しく満洲園の 下渉の遺物たるリットン報告 ある、たゞしかし人生々活に を競表し、過去における聯盟 離腸が多いと等しく満洲園の 出事の過誤を是正し、また康徳 なる問題のあらうことに想到 全面の過誤を是正し、また康徳 なる問題のあらうことに想到 全面の過誤を是正し、また康徳 なる問題のあらうことに想到 全面の過誤を是正し、また東徳 なる問題のあらうことに想到 全面の過誤を是正し、また康徳 なる問題のあらうことに想到 というない。

所謂税權統一を遂行し、

て發せられ、こゝに満洲國は 法を公布した 完全なる一國家として新生し 人

事變を基點さして急速進捗

かくして康徳三年六月日本帝國との間に治外法權の撤股 でに関係の異動その他中央、 地方諸機關の政殿擴充あり、 また司法、土地、産業開發等 に闘する幾多の法令も發布さ れこムに本年度よりは産業開

建國前における満洲の財政 は放漫その極にあつたが、建 関五年を迎ふる今日において は他の勝部面の建設とゝもに

してまた数次にわた

をなし、さらにその後イタリ 
基調として事實上滿洲國を承 
認するに至つた

質質的に滿洲國の承

この期間の跨

社

說

加り歴

陸軍大異動

符命の主なるもの

**但級線食堂車** 

**運賃單位にづき邦** 

第一回買 上海標金 南田 本 向 五五、

江戸ツ子藝技の御もて

なしどうぞ御贔負に

居心地の好い 瀰洒なお座敷と

十二年度豫算案を可決の後役換上に於て開催、會計報告及申別市七馬路町內會總會は二

本山荻舟氏は三月上旬渡繭繭本山荻舟氏は三月二十七日頃開 で新京では三月二十七日頃開 での後定である

會長決定

**☆ことになつた譯である** 上鐵道總局管理下に統働さ 融する、これで舊北鐵は完 類き月月日日のけ ののののの天 色ふ入出入出氣よ 最低等下二度也 最高 八時四八五分 最高 八時四八七分 大時四八七分 大時四八七分 大時四八七分

書」(1686888888 報 報 短期)

第一回實 二九弗 八分五年 一四賣 二九弗 一六分五

一大會に対した、 「東京國通」東京オリンピッ と、大會に対した、 でに第一の名字に入り、東京國通」東京オリンピッ では第一の名字に入り、大會に対した。 でに第一の名字に入り、大會に対した。 でに第一の名字に入り、大會に対した。 でに招聘選手の数字に入り、大月では数方のた、よる、十七日本に出聘を決定が表示。 大月ではある。 大月ではある事とした。 大月では、 大月に、 大日に、 または闘西九月四、五兩日ー神宮外苑

ホテルで曾社設立披露を行ぶれテルで曾社設立披露を行ぶ 日米對抗陸上 設立披露宴 輕金屬製造會社 ーゲン見本

本

熱河省の大物

貨客運賃

換算率改正

滿支直通

午後六時散會した、

李樹禎殪る



一千餘萬圓に過ぎなかつたが年度における總豫算額は一億 努力を認むるところである 上大なる功績として萬人その は関わないのであるところである

よび専賣の各機闘を財

配何レカニ御経り下

ネツスル煉乳會社 配載ノ品贈呈致シ 八日本郵便局私售函 科業 營 (六)(五)(四)(三)(二)(一)

**建國年度の倍額に達してゐる** 

使用ノ際其筋ノ許可不要 構造 使用後砲身ノ手入不用 費用火藥ノ百分ノー以下 絕對安全使用簡易 爆音强大賞物に優る 堅牢價格 低廉

ア店扱取二縣府各 官製ハガキ但し一葉一名 に依つて御報ら 然破つた合理的なニュー 洩れなく差上げます 圓、三等一圓 三月十五日 三月十日 一等五圓一 せ下さ

して最も相應しい名稱を次の規 存分に施した而も舊來の陋習を 確進大満洲國都に超近代的 サロン

第一種四月一二日本年、第二種四月一二日 心之前 ら往年御愛のオアシスト

サレダロシー て爛漫の陽 て近日中に皆樣 ٤ して全國都 つて居ま のグラン

歐亞連絡貨物

一、銀百圓につき國幣一、銀幣百圓につき國幣

日より左の如く改正貨物運賃換算率を三

なつた

北平間滿支直通

大學部

日 ○試驗四月十日

皆様に依っ

へく目下改築準備中で

第自

專門部

女

文数

連賃率改正

【錦州國通】 選東北軍の出身にして曾つては大頭目劉振東の片腕となり、部下三百餘を率るて錦熱兩省を跨にかけて率あて錦熱蔵をふるつた匪首李樹譲は一般えず陽内方面と連繁を保ちつる日滿軍警の剿匪工作にも可强に抵抗し來つたが、昨年末以來の日滿軍警共同討匪工作によつて殆ど全部の部下は離散し、最後に後つた値々三

るが、就中蔣介石氏は三回るが、就中蔣介石氏は三回

質は三月一日より左の如『年天園通』剛亞旅客運運賃改正

(三月一日)後場

商况欄

歐亞旅客

・米貨百弗につき國 帝三百五十八圓八十

部隊社員慰問旅行中の中西理熱河省鐵道沿線における皇軍熱河省鐵道沿線における皇軍 中西理事 五日大連、牡丹江、佳木斯のは十六日歸連したが更に三

豫山、虎林方面の慰問に向ふ. を外方面の慰問に向ふ. 三月來京 荻舟氏 経営機工 経営は萬國籍合會社で營ん を選挙は南國籍合會社で營ん

天株式

ルピ

(正金銀汗構)

等外の方にはケーキ付コ

大日本科學兵器幾會加

明 女 性 談

0

商務官辦公園設置して鮮滿州國との 「京城支局」 友邦滿州國との 資用化されつくあちが尚之が 資用化されつくあちが尚之が 関別化されつくあちが尚之が 関別に朝鮮貿易協會等の要望 をあり越督府では満州州政府 内主要都市京城、签出、群山 内主要都市京城、签出、群山 内主要都市京城、签出、群山

辨公署

麻洲國商務官

### 風 建國五周年記念日を迎へて に 飜る

千が手に手に日滿小國族をふ ・ 十王享の式典終了後日滿學生

安東 意義深い建國 一大安東省公署では一日午前 十一時より省公署では一日午前 十一時より省公署では一日午前 十一時より省公署では一日午前 十一時より省公署において玉 省長以下全職員ならびに日本 側田中特務機關長、網山領事

場と化して、荷滿人側では高 に北滿の天地は全く慶祝の坩 に和瀬の天地は全く慶祝の坩

の驚異的學説たるのみならず

いふにあるが之は天文學上

(\$)

本側約七千は同時刻附屬地の 大廣場よりそれぞれ行進を起 し市内を一巡高らかに唱ふ日 と市内を一巡高らかに唱ふ日 市中を練り歩き、勇ましい族りかざしつ、敷喜にどよめく

次に谷田市本部長 | 爆竹のひびき、かくて午後二一州は早朝より慶祝氣分に包ま、捧護回鐾訓民詔書 の壁、これに和して炸裂する 。…………。 念を迎へた錦

定刻十一時に至る

事十四名來

瓦房店公學校

『瓦房店支局』瓦房店公學校は修學樹野とも稱すへき兒童

【奉天國通】かねて滿洲醫大 を中心として設立準備を進め てゐた滿洲生物學會創立總會 は廿八日午前十時より醫大第 五講堂において開催、久保田 第大學長はじめ全滿より醫學

題は左の如し 一、行政權移譲の完璧を期するため現地委員會組織方關 「、高等女學校創設方滿鐵會 一、高等女學校創設方滿鐵會 社に要望の件 年の後任として元吉林省額 住その後任として元吉林省額 世七日着任し同日宮崎嘱官の サ七日着任し同日宮崎嘱官の

鋼材市價騰貴で

舊北鐵ボロ機關車を解體

總局、新財源を發見

滿洲生物學會

り同校講堂に開催した種目は 「精神などので、 「はなどので、 「はないで、 「ないで、 ・ 中国 国 図通 五 図通 五 図通 五 図通 五

細さを感じられ來つ か多くなつて來たの

で偲ばれる

發明協會支部 近く會員募集

の諒解を得たので近く朝鮮工政會本部の手を通じて同協會」 は内地の支部組織とは若干 始の段取り 集をなし愈々四月 薬協會の斡旋の下 野本部として ると共に潮次强化する方 はれたのでロッドが最近フラン

九カラツ

圖們神社近~着工 岡門神祉の建立 ない、薄い薔薇色がか 然と輝 興へるこの監持つと

チスは

小型シネマ

お好き

緊密化に鑑み在上海日本商工【大連関通】日支經濟關係の 曾議所では在支商議機闘の相 より向ふ三日間上梅において 互連絡を期するため三月一日

囑託保護司を

小型シネマが流行してゐるヒのおえら方の間に近頃家庭用 【ベルリン國通】ドイツ政府

新京ダイヤ E 表札 其他特面 

数學上にも重大な意義を有す するその理由は光線が太陽 見る為めの擴大鏡の働きなりよくば他の遠方の星をよりよく いて教授は次の様に述べて 家具と統飾 新京日本福通五九 包括 だった 七三五六 七三九六 九十二十

められ最後に佐藤穂領來落慶祝の覇を以て懺 完了したので、 依屬する事に決定した 第二回實行委員會を西 廿五日午後一

慶祝大會等が催されて十萬十

げる暖風に飜り、この日全市れ、戸毎に並ぶ颯爽は春を告

ればどんな難病 も屹度治る

約二時間にわたり

進建國五周年一段飛躍の意氣 「幸運」のダイ

海外ニユース

ン大學に数

鏡の作用をする

ア教授新發見 れて以來米 發國通 教授は米

支商議連絡會に

大連商議の出席方

易の振興その他取引上の運用 自 等に置らしめる計費であるが セ 本年中にはそれた 新設され 歴 【瓦房店支局】 瓦房店地方委 瓦房店の提案

樂しい哉!五族の唄聲 民族交驩演藝會

建國精神作與週間の行事

【瓦房店支局】復縣參事官國 復縣多事官交迭

ので同商議では役員協議の

監察、二十五日全鮮的に五十 ら適材を求めて囑託保護司を ら適材を求めて囑託保護司を ら適材を求めて囑託保護司を

p ľ

۴

に 露人のバラライカ、ロシアダ 展開されるであらう に ここのバラライカ、ロシアダ 展開されるであらう に ここのバラライカ、ロシアダ 展開されるであらう に ここのバラライカ、ロシアダ 展開されるであらう に こことになってをり文字 は よる 童謡、唱歌或は舞踊、白系 通り民族変騒の美しい情景が よる 童謡、唱歌或は舞踊、白系 通り民族変騒の美しい情景が こことになってをり文字 し これることになってをり文字 し こことになってをり文字 し こことになってあららり し こことになってあらり し こことになってある し こことになってある こことになってある し こことになっていましている。 こことになっている こことになっている こことになっている こことになっている こことにない ことにない こことにない ことにない ことに

鮮滿拓殖會社

宮の新財源に充富すべく研究で、時機を逸せいとなったので、時機を逸せいとなったので、時機を逸せいとなったので、時機を逸せいとなったので、時機を逸せい。

り 説明があつたが大要左の如 五日の同社總會で二宮總裁よ 五日の同社總會で二宮總裁よ 新年度の事業計畫

+ II 世紀フ

N

5

祉

超

B

氏

猛

なの 30

遊

スター トン氏大珍演・

別囑託保護司數は左 を以つて思想犯の保 命した、この場託保 富る筈である、尙ほ 本精神の涵蓋と生活 恩保護觀察の第一線 ウ ヰ 作に入り(現領事分館裏の高管を設けていよいよ具體的工作に入り(現領事分館裏の高 四千坪の地均らし設計 河通條二東 写屋 ヤ 毎四七七四多路電 **バラ家の當主は生活の爲めにて病氣をしなかつたのがバー** 超特作日本版

小型シネマが最も幅をきかせ ・ 小型シネマが最も幅をきかせ 適度地

るが、閣僚もこれに倣つて圧巨邸に持ち込んで樂しんでゐの味、休養には小型シネマを除暇、休養には小型シネマを

\* カバンの専門店 院級型

▼後取り出しフライベンに医 か一を入れ火にかけて煮立て それが飴狀になつた時その 中に鮭肉を入れ、表面に着 色した後適當に切る。 【注意】鮭とパンを混ぜ合 で卵黄ー個加へるもよし。

一斤、卵二個、味の素、味

一〇、〇〇 家庭講座 (奉天)小兒の發育

# O = n =

**豚肉黄金卷-五人分** 

七、三〇

の番組

一日(火曜日)

大、二〇 コドモの新聞(東京) 大、二五 講演 (東京) 関屋五十二 大二五 講演 (東京) 関屋五十二 大二十二 諸演 (東京)

、告知事項、番組發告

マーユース、告知事 ・コース、告知事 ・ロース、告知事

でから湯煮し、砂糖を加へ、 無豆も茹でで鹽、砂糖で下煮 し、米に栗や黒豆の茹で升ご とをかけて乾ブドウ、桂皮粉 とをかけて乾ブドウ、桂皮粉 とをかけて乾ブドウ、桂皮粉

を開はずま路頭に迷っ 露自

を (2) 一〇八五 を (2) 一〇八五 を (2) 一〇八五

女子専門(戸板ビル)

展見も茹でで 悪豆も茹でで 悪豆も茹でで

人を雇はれるなら

京願念パルセ

州合邦ヶ辻

**新京入船町二丁目二三** 

融

昌

電(3)五五四九

一味線衛

会資會社 三八端州競賣所 電(3) 五七四九・五二六〇 電(3) 五七四九・五二六〇

が古り 不用品高價質 費す競賣日三、八の日午後六 時より

●絕對信用 即金御用立 即金御用立

義經千本櫻 〈鲊屋

たい。 又助膜が 断炎八十五人、 大あり助膜が 断膜炎等を 既は ないって 運動が

と胸が痛いと訴へて來る者

そして味の素と味淋と食鹽 で味をつけてそれを爼板の 上に濡布巾を敷きノリ発き 位の大きさにひろげる。 マそれからノリ卷きを作る時 のやうに印とメリケン粉をつけ、鮭を上にのせて小口より 後き、形をととのへて皿に纏

お子様方のお樂しみの雛祭

雛祭の料理

季節料

理

心臓四十一人、肋膜

思者一

さんから叱られ

こら見作

立き、それに味の素、味醂、金最初卵を緊傷の中で茹で、

六人、ラグピー二百六人、劍道百二十八人

0

孔雀卵一五人分

く三百十二

味の素、砂糖、味淋、醬油、一、卵三個、生卵他に | 個。 一、卵三個、生卵他に | 個。

味の素及び味淋、食鹽にてふり、 れ味をつけておく。 別に食パンを水に浸し軟かく絞り肉に混ぜ合せ、これに食鹽を醤油二三滴をもつて本味をつけておく。 本それから卵を割り味淋、食

[6]

· 一 一 元

八眼神

田河北泡

の吸はせ

飲り吸へないとかお母さ

知らないと

く努力して吸ばせて下さい。 いだらうと思つても、根氣上 ちゃんにそれだけでは足りた

乳といふのはごく

昭

を (ま) 三十〇九系 (東三條備語)

認公

話野金融

・なる富祉へ!! ○質賞は老舗

(四)

### 身体の酷使は禁物 肺を侵される

15 II

あつた。

小學生風俗の関

であるのに驚きます

立て」、さては「シヤーリイの眞似した「パーマネント仕の眞似した「パーマネント仕ー張り「男刈り」や、姉さん

ンの厚薄にもいろいろ

としてくるやうです。併し我々から見ると、赤んぽうを生れた以上、お乳が出ないといよことはないのです。あつてもことはないのです。あつても

31

多

節句

卵卵醬み鶏材 黄白油り引料 人肉 · 好みに切ります。 ・ 紅を加へ流した ・ ごかんに切ります。 △橋つくね (五人前)

後は運動を續けて差支へないとする者四百八十五人あり、とする者四百八十五人あり、りち運動不可として禁止すべ

此んなご馳走は如何?

六百三十五人、男千九百八

ふ敷を示してゐる。この

桃

女三百六人

・ です。映畵の景響・1 が、シャーリイ・ウェーブをふいだんに使つたもので、残念よんだんに使つたもので、残念とんだ和製テムブル型 春先き ふだん 0 主

の注意を忘 れずにし

のはないのです

すが、ごくたまにしかそんなさらした人からは出ない譯で のお母さんは大

です。それは大人になつてもるやらに出來てゐるものなのなのです。それは大人になつても ことがあります。お乳の競育ちに發育のわるい部分のある 吉野町二丁目七

ローク De 融

3KHHO福海商事

貸室は店舗向

金融 勉强引受 三泰公司 中央通二十一 中国十二(四)四十

D シャ菓子

(3) 五人六十

E E

央

通。

カメラ中古質入交換カメラを選(3)四人二人機原并行電(3)二五四人番機原并行電(3)四七五五機原并行電(3)四七五五機原并行電(3)四七五五機原并行電(3)四七五五機原并行電(3)四十五五 章 3-2082

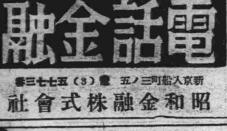
金融即時、長期、

電話と金融監

東一條橋語 あれる

100円九五日

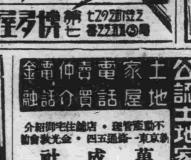
\$ お 点寫 ロ本無追四十



號 〇

14.

各一般女中及

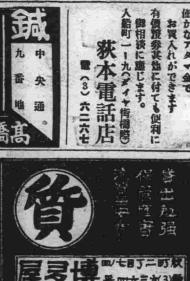


大連汽船

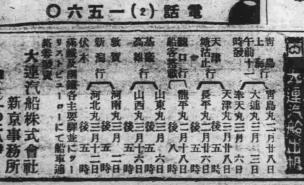
出機

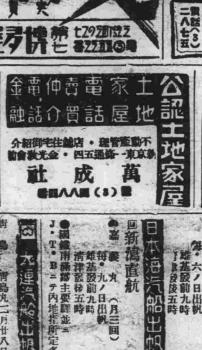
神婦淋昀 傳家 經人 のマツサー 是 是 は (3) 六七二七巻 (3) 富 清水鍼灸院 お











蒸御飯の乾果物入

速迅切一拔収

京土地建物會社 果一條通り四六

200八二八

と 医常母型に用ひますっ近くなりました。朝鮮のかいつか寄せてもらお雛

農産物綵袋の埠備有

料理獻立

●さいべりや丸(月三回) 毎・一ノ日出帆 毎・一ノ日出帆 選・六ノ日出帆 難基設前九時 難基設前九時 本海汽船出程

●切符を表があるとは、かららんとなった。 一方のであるとなった。 一方のでする。 一方のです。 一方のでする。 一方のでする。 一方のでする。 一方のでする。 一方のでする。 一方のでする。 一方のです。 一方のです。 一方のでする。 一方のです。 一方のです。 一方のです。 一方のです。 一方のです。 一方のでで。 一方のでで。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方のでで。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方ので。 一方の



歲 丸 近道 三三大

### に間ぬら

を拂つて欲しい

たり は一流水泳選手に三人も を多い。この病氣は運動と正 反對の立場にあり運動に害の を 気がつかない場合があるが、 に非常に關係あ に非常に關係あ に 意して貰ひたい 意して貰ひたい

スポーツ選手には蛋白尿が 私の提唱したいことは運動をやり、病 ないうちに又運動をやり、病 が 私の提唱したいことは運動を から 早期に診をせよといふことで、無理に きせよといふことで、無理に きことだ。

す。なて延ばし蒸してか (五人前)

ものです。

賑やかな

ん方の喜びさらなランチを考へて見ました。 埋がある。然しそれはいろ (一手致もかゝり、且も埋がある。然しそれはいろ (一手致もかゝり、且も桃の節句の御馳走といへば、昔からきまつた日本料

り、三角にしたり、 ※ 髪を斜に切つた ※ 髪を斜に切つた

◆…特に日中、附近の散步や 要り皺がよつてゐたり、襟を 上の薄汚れてゐるのはまこと をが凸凹してゐたり、お腰に をが出凹してゐたり、お腰に

亦夜お着換 たまゝにせ たまゝにせ

合 非常に人目につき易くなるも ◇…そして何時羽織を脱いで かけ の間は餘り氣づかずにぬたお した清潔な感じのものをお召 いものです。春先はたとひ不 め 間は餘り氣づかずにぬたお した清潔な感じのものをお召 しになつて下さい。 しになつて下さい。 な しになって下さい。 な しいなって下さい。 な しいなって と しいなって と しいなって と しいなって と しいなって と しいない と しいなって と しいなって と しいない と しいないで と しいない と と しいない と と しいない \ないやうに、帶も めになるやう、

出ないことに自分できめてしたのでせらか、ちよつと吸はないと、もうすぐ

り膝や腰の坐り皺にいつて毎日ブラ下げいつて毎日ブラ下げいって毎日ブラ下げいって毎日ブラ下げ

のなのです。ですから出ななはれば必ず分泌して來る とか、足りないといふ場合 といふことと、その二つが いふものは吸ふといふ一ついい。ものは吸ぶといふしつ

(3)四九五八四九五八四郎任局前

金額(3)六八二七番 富士町五丁目四 富士町五丁目四 下宿及貸間 號 新京三笠町一丁目 新京三笠町一丁目

帳簿專門 電話8三三三四番 タイピスト生徒

大 學 陰 時 管沼タイプライター満洲 管沼タイプライター満洲 直質所 (2)四四五二 (2)四四五二

入貿券債業勘と債公

首相タイプ綜合教授

通裏社神蛇番六り通島入京新 向署索警通央中 會商ンシボ 番=−==□話電

聖 क

之月二十五日 次路 丸 年後五時間

ふはお子様本位の雛祭料理のもあと三日に迫りました。け 、御吸物 蛤らしほ木芽

三、小井

【材料】(五人前) 小 蛤 二十個 本の芽又は蕗の薹少 々 木の芽又は蕗の薹少 々 小蛤は二日水につけ洗ひ、 小蛤は二日水につけ洗ひ、 で見からはがして一つの貝へ 二つ宛のせ、煮汁を漉して味 をとくのへ、木の芽でも添へ

【材料】

子供によく ぬた和へ 似合ふ

突飛なごと

り、煮汁を用意した中で煮、 卵黄をゆでゝ漉したものにころがします。 

中知(二五位) 中知(二五位)

盛んでからお寝みなさいませ

人がない。は短目にとないない。最近にといって、最近にといって、最近にといって、最近にといって、はよりの人がない。 スット、フレンチ・ カット、フレンチ・

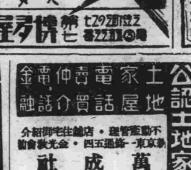
育て」るるお母さんが段々増 りが、近年牛乳で赤ちやんを りが、近年牛乳で赤ちやんを

に方んさ母お

電話買度し

等◆工行一回金一間八十线 等◆工行一回金一間金四十銭 一回金八十銭

三田寨內 あん



として、

取取へず私達の生活
に文藝の復興、乃至更生が成
でれたかは後世の史家に持つ

政治の中核は日本の移植である。政治の中核は日本の移植である。政治の連に達してゐるとすれば、やがて満洲文化もこれに大く可きではあるが、其まに大く可きではあるが、其までには多大の時日と渾身の努

之れ

東る夜の豆腐の化粧は黄 色なり

天領吉三郎 天領古三郎

新興満洲ミ文藝

温床ではなかつた。 温床ではなかつた。

出した兄が居そうな捕鯨

して表現に勝てた句の出來家出」と云ふ古い想から取

副業の儲け近所で探り合ひ い空氣の中に生かした句 テンドン屋迷ふた道もなら して居

位としても未だ拙くてならぬ一句だ。
句だ。
可度を呼へば吹雪と共に入り
・湯豆腐を呼へば吹雪と共に入り
・湯豆腐をのよく座敷は四塵
半温豆腐をつょく座敷は四塵

場面の展開が想像されて來よ 登前の展開が想像されて來よ

憶

ひ出

二、八、夕)

るた態が深い、

失敗の作であ

# 作句道場

5、句調を尚べ も句調の思いのは何處までも も句調の思いのは何處までも や味の必要があると思ふ。 やれに句調を確かめないと句 の意味を取り違へられる怖れ

位に纏めてもいる句ではないかが見いたと思ふ。
日下國都柳壇は純川柳の型にを思ふ。
日下國都柳壇は純川柳の型にならつて向上の第一歩・に進みつるあるが、國都新人の柳界への後援が第一の急務とさへ

等々の句は主體で豆腐屋は何 んども變化しても句として認 められる代り、もち云ひ盡さ れた領分の句として價値に乏

第にのせたままで豆腐は 地面丁入れ 地面丁入れ ではなって向丁の働きが受 身になって向町の関係から 意味がとれなくなった様だ 響の上の豆腐 無惨に刻 まれる 性に纏めてもいる句ではな

総びぬまる散つた少女の永眠

な何であったろう。

屋の餌ひよつとり

空へ豆腐黄色く化粧す

おい想と云へど表現法即ち字 古い想と云へど表現法即ち字 句の使用に依て相當練磨された句となるか、通常、古川柳 にある云ひつくされた想は取らか、例へば おさん、おならうか、例へば おさん、おならず、句の中に散みこなして行くのがよい。それを古い想より得たる新しい句と云はれて **國都** 満 洲 カロリーの母に解らぬままでよし 境を發見して行く惱みが又興 一興を得る原因だ。

雪の道」

雪の道 ふみ散らして行く

生 欄干の雪十つて行く 小學

の学二の学を踏んで出 の学二の学の下駄の跡」と云 の学二の学の下駄の跡」と云 雪の朝を見た句に 之れを「眺へた様に元旦 書 け 使が明

子供行く」
子供行く」

医博 沖津直

(電氣百般)

型在 鎌庫

非常時、ラヂオ、デパート ま常時、ラヂオ、デパート なりかけた型はあれどまめ新しい気持ちの句の出來る方とし ハイキング、アイク、認識 パイキング、アイク、認識

でこんな境地の句を作るには を受へれば成功はせぬと思いる。又「朝の雪」と「出動」 と時の重復を感じさせる失敗 の趣きがあるのは損だ。 ・下駄かたをはつきり雪へ學 校道 に明け」

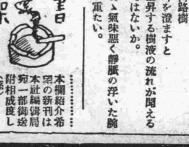
生活に觸れる物珍しいものとは文化の恩惠に浴した吾人のは文化の恩惠に浴した吾人の

短い 歌 玉川辰郎 おりぬめくらの世界(失明するやも知れんと云はるけぬめくらの世界(失明するやも知れんと云はる

味すると、句調のみにとらわれの句など 湯豆腐に定めて 文(場豆腐に定めてぼつく 又(場豆腐に定めてぼつく

なり く見童の 唄と 云はれて居るのだ。處が大抵 の場合 四、五月から一ヶ年 位の作句熟が續くと川柳その もの正體が摑めなくなつて來 る、即ち作句の倦怠期に入る 人が往々あるのは避くべから ざる事實だ。入選云々を度外 視して損り作句の境に浸り鏡 表會への會心の徴笑を以て最 表の楽しみとする事が出來る 様になればそれでいいのであ る。

での域を修養の軌條にあるものと私は云ふ。 のと私は云ふ。 のと私は云ふ。 のと私は云ふ。 のと私は云ふ。 のと私は云ふ。 句道場にありて精神の統一を 計る事が出來る迄繼續的精神 をのぞむ大第である。 私は默筆を並べいさいか赤 面を感じたれば関都柳壇の の取材となる事を希ひつつ の取材となる事を希ひつつつ



が重たい。 上昇する樹液の流れが聞える 支えるやりに體を凭せかけた

架等 

その日も、老母の語るはかなら、哀しく呼應してゐた。 私にはもう老母を慰める言葉がみつからない。私は靜かに 即を閉ぢて、いつものやうに 力なく、また手を組み合せた 機帶ににじむ血のように、私 はいま憶ひ出す。快復の望み を失つた少女の胸を苦しめた であったかを。 少女は、私の手をしつかりと 笑してゐる。 響節の訪れに難く顔が私を嘲 **地上に描く。** 地上に描く。 地上に描く。 私は胸を病んでゐる 数を押えて、

院長

りない。 一次ででは、 一次ででは、 一次ででは、 一次ででは、 一次ででは、 一次でででは、 一次でででは、 一次でででは、 一次でででは、 一次でででは、 一次でででは、 一次でででは、 一次でででは、 一次でででいるが、 一次でででいるが、 一次でででいるが、 一次でででいるが、 でででいるが、 でいるが、 でい の生れるならば、満洲文壇の 大い。一日も早く現代の日本文藝を咀嚼しなさい。と言 とたものを書いても構はない。 又今の線に郷悉に囚れてゐて も一向大陸色彩の文藝が生れ て來ぬと嘆きはしない。 然し、その血と肉とは既に 粉となし牽引力でなくてはな 特となし牽引力でなくてはなない。 

五九番地

十個位から百<u></u> 百<u></u> 位まで

荷入末月

趣味

早本を い近何 內讧《

神 恐らく四五年前迄は日本内地 恐らく四五年前迄は日本内地 は完全に出來 上つてゐる。最近の新京に於 ける讀者層を瞥見しても、東 ける讀者層を瞥見しても、東 から、住居は變つても埋砂が大 でも から、住居は變つても単心は

御靴の御相談所 多ケヤ靴店

(8) 四少五十二〇十二二

二丁目公學校前〈賴歌ビル真個 村多質(出前は最も迅速に)

たまんぢゆう

天下一品







油畵 繪畵 釣額 知 前 修理ハ迅速・確實!!·廉價!! 信堅用牢 · XXXX **拼護士**動大等 製品元级店會社份 會合 社資 修理工場両七馬路一七電ニード七六〇第京吉野町一丁目ニー・電ニード七六〇

各官衙學校會社御用達 新京中央通二十一郵便局前 短册類卸 引地寅治 皆様の額ブチ店へ

電話(3)四五三九番

進豊呈富 EP 近江洋行特遇 8 #雙發洋行印刷部 ト印 洋行へ入荷…………お高級花瓶の傑作もの約百高尙な.記念品として好評 翻京日本橋通七十四番



マイヤ年(永樂町) マイヤ年(永樂町) マイヤ年(永樂町) 本店 大連 漁連町 本店 大連 漁連町 本店 大連 漁連町 大口玄碣正面より ニーー セニー 要 いた 登 章 年

EGELINE 斯界に多大の信用と 愛用者を有する



6



かび選の薬眼いし正

は態狀なん勢 ぬら起に對い

この登明さく

たり、 大会にの形式する様な声は絶野にあれたり、 大会にの形式する様な声は悪いない。 アルカリの海線を近して 元素が地質し、アルカリの海線を近して 元素が地質し、アルカリの海線を近して 元素が地質し、アルカリの海線を近して 元素が地質して 一条 できない かられる はいかい かんしゅう しょうしゅう

容器に對する 科學的な用意

申する過言ではありません。 関に『眼は人生を支配する』と 大の活動能力を低下させます。 では解される人體最高の器官で では解する。 と では解する。 では解する。 では解する。 では解する。 ではありません。 では解する。 ではありません。 ではなりません。

覗く易れ抜か根原の事仕 (目れかつ) イマスーー時るへ衰が他の頃り鈍が力 っすましりキッハも頭も眼ばせ點をル

で人所れ関が摂取や絵眼(目れだた) ■を眼點ルイマス一時な快倫不く闘 **。**すまし関係くし美く快労いす體

・ に 画面血液の限の 切一等日ち。 目れは ると極大意味にも直ばせ點をルイマス **対まりなと快奏も分氣し復回を力調し** 

勞疲精眼

像限しロゴロゴが中の目(目りやね) ルイマス一時るれ溢か涙や脂眼れ腫が

スと復情の限も病に性にことが他のご

現代人相互の重要な資格でなく によって、不快な眼病をひ ことは、衛生思想に目覚めたる ことは、衛生思想に目覚めたる は、衛生思想に目覚めたる

ては江南は世んの

も際の思羅 れざ防急で用語のルイマ すまめ早を使治くし苦で徒方世

出がシホに限黒(日みすか、日上日) 一時ぬらなてくし眩 み雪が眼 次 すまし快報に選ばせ当をルイマス



(文章) 二十五錢,四十五錢 全国際店・百貨店際品部にあり

W大·京東配會名合置玉 店理代繳

(七)

軍擴熱に煽られ

徹底涵蓋せしむる目的で各地 であず、氏は見童に敬神の心を るが、氏は見童に敬神の心を るが、氏は見童に敬神の心を

【長崎図通】世界各地の經濟

づれやりと愛機ロック祭旁々憧れの櫻咲く日

長崎清、神戸へ

をもつ皇國敬神會々長、大阪大阪市天王寺區逢阪下に本部

平本大阪教化委員が運動

新京輝ではいよく、観察、旅 會を閉ぎ 行のシーズンに這入つたので、をなす模 関都における負滑なる連絡案内 手 エン に遺漏なきを期するため観光 ・ チエン

チェ

ツコ製靴王

をなす模様である

忌憚なき意見の交換

一氏に昨年一月以來の下九一氏に昨年一月以來の下九十年年暮から本年にかける人夫質の残金百十六圓七十錢の支拂方設百十六圓七十錢の支拂方設時年暮から本年にかけて新年年暮から本年にかけて新年年暮から本年にかけて新た。

# 依然續出する賃銀不拂問題 無賴を斷乎取締り

# ワン公拔群の働きに 既衆讃嘆の聲

記念日に當り大同公園に於て 定である には百數十頭の會員犬を總動縮州軍用犬協會新京支部では 部では來る十日の陸軍記念日 軍犬訓練質演成功裡に終る

觸れて昏倒 民政部警務司動務森井修蔵氏 (二七)は二十八日役所に出 動留守中、大經絡西五馬路か ちどき下宿二階九號室内に置 いた、濃褐色革製入寫眞器一 いた、濃褐色革製入寫眞器一 に別狀はながつたが、顔面打 袰傷全治三週間の負傷に目下

豆タクだつたが

在京兒童にす

は學校教育直々の擔當者たる を發表して注目を引いたが文 を發表して注目を引いたが文 を發表して注目を引いたが文 をでは更にこれだけに留ま をでは更にこれだけに留ま 

女中さん、ボ

夕1

接客業者座談會

本月中旬、驛、觀光協會等主催で

會り、保安保の調停でどうやら らはれる不満から自棄となり 監察署員の努力で取り押へて であると當局者を惱ましてむる もその時はすでに使ひ果し處 るが是非この不德漢を一掃した な賃銀で棚口を凌ぐ勞働者は て働けるやらに嚴重取締り勘 告金 して少くなくこれ等不徳漢は る状態で捨て置けぬ社會問題 告充 賃金不渡からの生活苦と寒暑 ずたる處置に出るとのことで と聞つて育血を絞つた金をさ ある 日本優秀教員の 量招聘を計畫

告げ我が海運界もこれを反映 | いて昨年同期に比し定期船舶は膨よ世界的不足を | ゝあるも二月廿六日 月初旬以來多少小康を保ちつ路において更に甚だしく、一路において更に甚だしく、一 の他一樹乃至三割 を成路、一割乃至二割、其 度航路、一割乃至二割、其 度航路、一割乃至二割、其 で他一樹乃至三割、其

アムを唱へるといつた情勢で 更に一噸乃至一噸半のプレミ であるといった情勢で

で現出する で現出する で現出する

科線X児内 科病性外

た三通安奏宗新 ニた・七0四-(2)剛

HH

時間が愛更される、なほ土曜 時間が愛更される、なほ土曜 執務時間改正

對吉林かるた

のスコアで新京軍に凱歌は上一進一退豫想に違はず非常な白熱戦を演じ結局十七對十六 二時から日本橋通り金融組合で離かるた會は二十八日午後

ヤンバーチャ氏は從者のフラールた世界一の製靴五千萬長者の大きについた世界一の製靴五千萬長者の大きについた。

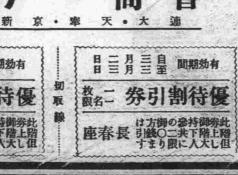
新京配町青陽ビル 式設 青

4 四三四ル **E**== 九八六











一時より記念公會堂で協議會を 開催種々懸案を協議した後散 部に於て新舊警務部長の挨拶のに於て新舊警務部長に就任したがの時より關東局警務部長に就任したがの日午後二時より關東局警務部長の関東軍 **警務部長挨拶** 

各

物

佃

煮

節

庭向

金

滿洲國各官廳

億 證 節

託代

食方(負債之部) 食方(負債之部) 資本 金 約00°000°00 法定積立金 ベラス・00 別途積立金 ベラス・00 別途積立金 バス・00 開調積立金 バスの・00 計算退職給與金 バスの・00 計類繰越金 ボスバーシー 間期繰越金 ボスバーシー 高期解益金 ボスバーシー で合った。 一年 1月三十一日

新京倉庫運輸機式

大造石研出用 大造石研出用 大造店 森川區造商店 製造店 森川區造商店

マン着色劑

元庵 岩 崎

卸 支 り通日朝

所に届出でた、犯人は大鵬に も同家の表立闘小窓を破壊侵 小型映寫機

本短孫付した では文化度の低い流洲では文化度の低い流洲のでは文化度の低い流洲のなるのとして重視されいなるのをして重視されいなさき程到着したのでこかさき程到着したのでこかがなったがという。 三十五ミリ映写機各がなき程到着したのでという。

任友合資改組 本社に譲渡 住友財閥の

工業ならびに化學、工業、倉川、製鑛、石炭、機械等の重山、製鑛、石炭、機械等の重出、製錬、石炭、機械等の重

な住友コンツェルンを統制する住友合資會社は廿八日總社 その營業、從業員の一切を學 げて三月一日大阪本社に開催 の創立總會で設立される株式

を集め

(合資と同額)で役員は左の如くである
取締役社長住友吉左衛門、代表取締役小倉正恒、取締代未明吉、今行辛男、國府特一、古田俊村辛男、國府特一、古田俊之助、山本信夫、監査役大

第一學年

大工選手一位 ニューョーク二十七日 酸固 ・ 大工選手値 がンスレン(コロンビア代表) とよもに十四呎を跳んだが、 ・ 十三呎六吋までにガンスレン は二回バーを落したムめ大江 二位、ガンスレンは三位となった、メドウスは十四呎三吋 を跳び一位を占めた

三月二十七日 三月二十七日

中學三年程度以上

郵券二銭對入申込のこと

所在地

イプライター

電多四三五五

船長崎丸で來朗

百貨店組合協

見置三千名に参拜章を交附し | 來た、氣の早い巷行く人はも | 間には大小のお雛さまが飾らととなつてゐるが前日十三日 りもそろ (一利ぎとられて長 つてあすは三月三日、桃の節ととなつてゐるが前日十三日 りもそろ (一利ぎとられて長 つてあすは三月三日、桃の節なとなってゐるが前日十三日 りもそろ (一利ぎとられて長 つてあすは三月三日、桃の節本國民としての誓ひをたて終 もぼかぼかと温い陽ざしに微 ヘ戸外へとそぶろ歩きを始め本國民としての誓ひをでけ第二の日 | 氷雪にとざゝれた北瀬の大地 | 5外套も首卷もはづして戸外捧げ、お蔵ひを受け第二の日 | 氷雪にとざゝれた北瀬の大地 | 5外套も首卷もはづして戸外

小學校、幼稚園ではお

句

別京百貨店組合は一日午後二

**愛國記念日** における

館講堂に於て在京留學生參集後四時より牛込辨天町の同會

盛大な祝賀會を舉行

中山眼科醫院與科醫院與科醫院

専門店清眼堂で

ない。代官所の焦欝は言語に終しず、これと云ふ手棚りすら見當ら

として行衛が知れないのみなら

杢

士兵

組、

百数しの事件突破で期の沸くやう を来た東海道の宿場石薬師は、代 芝本の代官所が、飛部に對する 西上り下りの本街道は勿論、南 つたが、ありや誰がかけたんだ だてんで第一にそれを疑はれた

「さらか、巧く計つたつもりだつ

替

諮

官

衙御用

逃は班で事性を愈々変貌させるば しい金製逃は班で事性を愈々変貌させるば しい金製の工具をが、相郷 知つてる り 「気の概だったが、その代り、新で、簡響すっかり挺ちゃったぜ」 ・ で、簡響すっかり挺ちゃったぜ」 目科業營

眼鏡 時計 計時堂正大 番八五六六(3)話電

ક

债家不土 一般保險業代職を登入其の他金の管理が 代引他, 整取仲賣 務理立介買

久し振りにまた 蛤茶

( 及 院 暗 意)

日本橋通郵便局前

ながら、足の向く先は小六の家 西るかい小六。えれえ目に遇つ 代官所を出た献太は、首を描でとフほフほフは、私職人と

Tどうして アで 材前、此方 から 「どうして アで 材前、此方 から ボーン、うめえところへ行ぎゃいかったなア。なる限それちや気 たア恩はねえから、野獣元職した 「あれで分られえから可設相なもったらなかつたからなア」 アよく云つたものだぜ」 「甚兵衛の水車小園だよ」

てといつア可良相だったが、お前

『その娘が、訳人をあすこへ医ま のたんだ。甚兵衛はもと丁字屋の

病、痔疾科

(日

曜

火)

こうもあったもんちゃね 「遠えねえ、まつた~役人の騒ぎ

類種 どかんぱやき 電話・二三四四五番

特二方勉强致シマスニ質問ヨリ団体目極い

電店B

公館

出前迅速

加藤洋行

新京日本橋通二五

茶

電話石炭部。二〇三二・五三八八 藤洋 行 京 支 店

藤山疊商會 電話二―四七三八番新京朝日通り

東亚ペイント諸建 順石炭指定販賣店型ペイント諸建築材料 羅紗洋服 重活 ② 附屬品

銘

河

番四〇二三 :話電 日丁二 中 笠 三

帝都キネ 四九八〇番

落木式物干 御奬めします (定價金三圓八十錢也) カナへ商 會出張所

煖房の故障~水道。凍 回御用の節は御電話承次第係員多・ カナへ商會 

內 科性 豊築路モンテカルロ降電 病科産婦人科 WAS SALL 1111110

目課業營 技術正確 鑛業法二依 責任出願 ル正規製圖並出願手續 新京八島通四四 **横**業 一方龜次郎

御徳用な質流 富に有ります 今の洋服オ 新京配町三 九 ノ三(開花前) 類 質 声店

京安店三大大学。三七三八八 榮養菓子

NAKANANA NAKA

